



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ZUU 上場取引所 東
 コード番号 4387 URL https://zuu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 富田 和成
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート部部长 (氏名) 茂木 久裕 TEL 03-4405-6102
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	756	21.3	52	△49.1	51	△41.2	34	△41.8
2019年3月期第2四半期	623	—	103	—	88	—	59	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 33百万円 (△43.4%) 2019年3月期第2四半期 59百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	16.71	16.17
2019年3月期第2四半期	30.18	28.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,294	978	74.0
2019年3月期	1,238	990	80.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 958百万円 2019年3月期 990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	21.4	0	△100.0	0	△100.0	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	2,109,820株	2019年3月期	2,099,090株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	10,940株	2019年3月期	40株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	2,088,374株	2019年3月期2Q	1,986,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善や良好な雇用環境を受けて、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、国際情勢は不安定な状況が続くことで、依然として世界経済は先行き不透明な状況にあり、今後、我が国経済への影響も軽視できません。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、株式会社電通発表の『2018年 日本の広告費』(2019年2月28日発表)によると、2018年のインターネット広告費は、5年連続で二桁成長し、1.7兆円を超える市場規模となっております。加えて、矢野経済研究所『FinTech市場の実態と展望 2019』(2019年8月30日発刊)によれば、成長を続ける国内FinTech市場は2018年度の0.2兆円から2022年度には1.2兆円ほどに達すると予測されております。

このような環境の中で、当社グループは「世界に、熱を。人に可能性を。」というミッションの下、「ZUU online」等の自社メディアのユーザー層の拡大、及び他有力メディアとの連携も強力に推進いたしました。その結果、「ZUU online」等の自社メディアの月間訪問者数は堅調に推移しております。また、自社メディアのユーザー層拡大を通して培ったノウハウをベースに、顧客企業にフィンテック化支援をしており、同支援の売上は順調に推移いたしました。

メディア・サービスについては、更なる自社メディアの認知度向上や訪問ユーザー数の増加に伴い、当第2四半期連結累計期間は売上高320,794千円(前年同四半期比39.4%増)となりました。フィンテック化支援サービスについては、案件の大型化に伴う1社当たりの単価増が寄与し、当第2四半期連結累計期間は売上高435,006千円(前年同四半期比11.6%増)となりました。その他は、当第2四半期連結累計期間は売上高433千円(前年同四半期比88.6%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は756,233千円(前年同四半期比21.3%増)、営業利益は52,405千円(前年同四半期比49.1%減)、経常利益は51,875千円(前年同四半期比41.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は34,900千円(前年同四半期比41.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,138,300千円となり、前連結会計年度末に比べ20,520千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が40,345千円減少したことによるものであります。固定資産は156,141千円となり、前連結会計年度末に比べ76,844千円増加いたしました。これは主に敷金及び差入保証金が50,769千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,294,441千円となり、前連結会計年度末に比べ56,324千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は289,826千円となり、前連結会計年度末に比べ50,288千円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加30,000千円、未払金の増加30,684千円によるものであります。固定負債は26,390千円となり、前連結会計年度末に比べ18,001千円増加いたしました。これは増床に伴う資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、316,216千円となり、前連結会計年度末に比べ68,289千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は978,224千円となり、前連結会計年度末に比べ11,965千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益34,900千円を計上したこと、自己株式の増加47,210千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は74.0%(前連結会計年度末は80.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は概ね計画どおりに推移しており、2019年5月14日公表の業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	957,287	916,941
売掛金	174,514	189,719
仕掛品	2,005	2,451
その他	25,531	30,224
貸倒引当金	△518	△1,036
流動資産合計	1,158,820	1,138,300
固定資産		
有形固定資産	15,235	36,317
無形固定資産	126	119
投資その他の資産	63,935	119,704
固定資産合計	79,296	156,141
資産合計	1,238,117	1,294,441
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,137	25,670
短期借入金	50,000	80,000
未払法人税等	49,044	22,750
その他	120,356	161,405
流動負債合計	239,538	289,826
固定負債		
資産除去債務	8,388	26,390
固定負債合計	8,388	26,390
負債合計	247,927	316,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,540	466,729
資本剰余金	438,540	406,952
利益剰余金	98,008	132,908
自己株式	△285	△47,496
株主資本合計	989,804	959,095
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	386	△573
その他の包括利益累計額合計	386	△573
新株予約権	—	19,702
純資産合計	990,190	978,224
負債純資産合計	1,238,117	1,294,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	623,682	756,233
売上原価	152,544	224,536
売上総利益	471,138	531,697
販売費及び一般管理費	368,134	479,291
営業利益	103,004	52,405
営業外収益		
受取利息	2	4
為替差益	135	146
助成金収入	200	—
その他	65	902
営業外収益合計	403	1,053
営業外費用		
支払利息	17	20
株式交付費	8,359	—
株式公開費用	6,672	—
支払手数料	—	1,431
その他	105	131
営業外費用合計	15,155	1,584
経常利益	88,253	51,875
税金等調整前四半期純利益	88,253	51,875
法人税、住民税及び事業税	28,300	16,974
法人税等合計	28,300	16,974
四半期純利益	59,952	34,900
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,952	34,900

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	59,952	34,900
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	45	△959
その他の包括利益合計	45	△959
四半期包括利益	59,998	33,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,998	33,941
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	88,253	51,875
減価償却費	1,560	1,529
株式報酬費用	—	9,349
貸倒引当金の増減額(△は減少)	518	518
受取利息	△2	△4
助成金収入	△200	—
支払利息	17	20
株式交付費	8,359	—
株式公開費用	6,672	—
支払手数料	—	1,431
売上債権の増減額(△は増加)	△18,493	△16,067
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,484	5,533
未払金の増減額(△は減少)	10,568	31,455
その他	6,426	4,962
小計	100,194	90,604
利息の受取額	2	4
利息の支払額	△17	△20
法人税等の支払額	△25,029	△43,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,150	47,319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△4,631
投資有価証券の取得による支出	—	△5,000
敷金及び保証金の差入による支出	△11,107	△50,769
その他の支出	△204	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,311	△60,400
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70,000	30,000
株式の発行による収入	266,728	26,378
自己株式の処分による収入	—	51,170
自己株式の取得による支出	—	△144,589
新株予約権の発行による収入	—	10,353
財務活動によるキャッシュ・フロー	336,728	△26,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	△575
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	400,501	△40,345
現金及び現金同等物の期首残高	496,216	957,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	896,717	916,941

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月14日開催の取締役会決議に基づき自己株式33,000株の取得を行ったことにより、自己株式が143,158千円増加しました。また、2019年9月30日の新株予約権行使に伴い自己株式22,100株を割当てたことにより、自己株式が95,947千円減少しました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が47,496千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、フィンテック・プラットフォーム事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2019年10月17日開催の取締役会において、株式会社COOL SERVICESの株式を取得し、株式会社COOL SERVICES及びその子会社である株式会社COOLを子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容等

被取得企業の名称：株式会社COOL SERVICES

事業の内容：貸金業

被取得企業の名称：株式会社COOL

事業の内容：第二種金融商品取引業、投資助言・代理業

② 企業結合を行う主な理由

子会社化に伴い、当社の強みである、「金融に関する興味関心の高いユーザーの囲い込み」及び「購読履歴データを活用した潜在層の顕在層化」を生かして、融資型クラウド・ファンディング領域に進出するためであります。

③ 企業結合日

2019年11月15日(予定)

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得する議決権比率

80.0%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	110,000千円
取得価額		110,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬手数料等 8,500千円

(4) 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。